



「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」 活動報告(平成17年度NO.2)

1. 施設見学会 ～*水力発電所編*～

今年度の「施設見学会」は、2本立てで実施しました。
10月12日(水)「施設見学会～水力発電所編～」を実施し、38名が参加しました。
北陸電力(株)「有峰ダム」、常願寺川水系27ヶ所ある発電所(合計約81万キロワット)の中でも最大出力である「有峰第一発電所」を見学し水力発電のしくみについて学びました。
まず、参加者は、高さが140メートル、堤頂長が500メートルの重力式コンクリートダムである有峰ダムの中を実際に見学し、ダム管理などについて説明を聞きました。
次に、有峰ダムの水を利用して約27万キロワットを発電する「有峰第一発電所」では、発電機と水車をつなぐ軸が高速回転している様子やダムの制御室を見学し、発電所の仕組みについて知識を高めました。

<有峰ダムにて>



気温9度のひんやりした
空気にびっくり!

<有峰第一発電所にて>



発電機と水車をつなぐ軸が回
る様子をはじめてみたわ。
水力発電のしくみが、よく
わかったわ!

設備の良好な維持管理に日夜努力をしています。



知って、なっ得、でんきのお話 **第2話**

エネルギー資源には限りがあることをご存じですか?

日本は世界第4位のエネルギー消費国。世界全体の約5%のエネルギーを消費しています。今後、アジアを中心とした開発途上国の人口の急増と経済成長によって、世界の消費エネルギーはさらに増加すると考えられています。しかし、**石油や石炭といったエネルギー資源には限りがあります。**エネルギー資源を大切に、効果的に使い、将来にわたってエネルギーの安定供給を確保していくことが重要な課題になります。そこで、注目されるのがエネルギー資源のリサイクル。今回は、エネルギー資源のリサイクルについてお話します。

2. 施設見学会 ～*原子力発電所編*～

11月11日(金)「施設見学会～原子力発電所編～」を実施し、35名が参加しました。今年3月より営業運転を開始した北陸電力(株)「志賀原子力発電所2号機(135万8千キロワット)」を見学しました。
原子炉建屋内、タービン建屋内を新しくできた見学者用のギャラリーから見学し、原子力発電のしくみについて学び、原子力の必要性や安全性について理解を深めました。
また、地球温暖化防止のため、二酸化炭素の低減に原子力発電は大きな役割を果たすことや地震や台風などの自然災害に対し、十分耐えられる対策がされていることを学びました。
花のミュージアム「フローリィ」では、クリスマスモードにまつまされた館内や庭園でたくさんのお花に囲まれて、なごやかなひとときを過ごしていただきました。
また、フリールームでのクラフト体験では、思い思いのクリスマスリースをつくっていただき、お楽しみいただきました。

<志賀原子力発電所にて>



志賀2号機は最新の原子力
発電所なのね。

<フローリィにて>



大好評だったクラフト体験「クリスマスリース」

3. わいわいトークサロン

12月3日(土)、わいわいトークサロン第3回目を北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」で開催し、41名が参加しました。
北陸電力のCSR(企業の社会的責任)への取り組みについて紹介した後、「アロマテラピー～香りを楽しもう～」と題し、水蒸気蒸留装置を使ってラベンダーからエッセンシャルオイルを抽出する実験を行いました。また、エタノールにエッセンシャルオイルを加えるいろいろな香りのエアフレッシュナーをつくりました。今回、このような科学実験は初めての試みでしたが、終始なごやかな雰囲気につつまれ大変好評でした。



こんなにたくさんのラ
ベンダーからエッセ
ンシャルオイルはほん
の少ししかとれないなん
てびっくり!



発行元・お問い合わせ先
『環境とエネルギーを考えるとやま女性の会』
(事務局) 北陸電力株式会社 地域広報部エネルギー広報チーム
〒930-8686 富山市牛島町 15-1
TEL076-441-2511(代表)(内線:2631~2635) FAX 076-405-0111